令和２年度

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
充当事業決算状況調

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（目次）

（単位：円）

番号	事業名	補正予算議決時期	事業費		財源内訳 特定財源 国・道補助金／地方債	財源内訳 特定財源 臨時交付金充当可能額 国庫補助事業【別枠分】	財源内訳 特定財源 臨時交付金充当可能額 地方単独事業	財源内訳 一般財源	流用額	翌年度繰越額	不用額
1	新型コロナウイルス対策事業（アルコール消毒液等の購入）	第3号補正（5/15） 第5号補正（7/10）	予算額	3,875,000	0	0	3,875,000		0	0	12,180
			決算額	3,862,820	0	0	3,862,820				
			差　引	△12,180	0	0	△12,180	0			
2	福祉・医療施設等感染予防対策支援事業	第3号補正（5/15）	予算額	3,500,000	0	0	3,500,000		790,000	0	0
			決算額	4,290,000	0	0	4,290,000				
			差　引	790,000	0	0	790,000	0			
3	頑張る事業者応援事業	第3号補正（5/15）	予算額	48,000,000	0	0	48,000,000		0	0	900,000
			決算額	47,100,000	0	0	47,100,000				
			差　引	△900,000	0	0	△900,000	0			
4	飲食店・ホテル等緊急支援事業	第3号補正（5/15） 第11号補正（3/2）	予算額	8,290,000	0	0	8,290,000		△790,000	0	0
			決算額	7,500,000	0	0	7,500,000				
			差　引	△790,000	0	0	△790,000	0			
5	新型コロナウイルス感染症関連融資円滑化事業	第3号補正（5/15）	予算額	100,000	0	0	100,000		0	0	100,000
			決算額	0	0	0	0				
			差　引	△100,000	0	0	△100,000	0			
6	スーパープレミアム商品券発行事業	第3号補正（5/15） 第11号補正（3/2）	予算額	44,626,000	7,474,000	0	37,152,000		0	0	193
			決算額	44,625,807	7,474,200	0	37,151,607				
			差　引	△193	200	0	△393	0			
7	公共施設感染防止対策事業	第4号補正（6/10）	予算額	420,000	0	0	420,000		704,000	0	680
			決算額	1,123,320	0	0	1,123,320				
			差　引	703,320	0	0	703,320	0			
8	テレワーク環境構築事業	第4号補正（6/10） 第11号補正（3/2）	予算額	14,786,000	0	0	14,786,000		0	0	6,220
			決算額	14,779,780	0	0	14,779,780				
			差　引	△6,220	0	0	△6,220	0			
9	指定避難所感染防止対策事業	第4号補正（6/10） 第5号補正（7/10） 第11号補正（3/2）	予算額	58,248,000	14,800,000	0	43,448,000		△1,525,000	0	1,078
			決算額	56,721,922	14,400,000	0	42,321,922				
			差　引	△1,526,078	△400,000	0	△1,126,078	0			
10	子育て支援施設感染防止対策事業	第4号補正（6/10） 第7号補正（9/18） 第11号補正（3/2）	予算額	3,624,000	782,000	391,000	2,451,000		1,014,000	1,173,000	0
			決算額	3,465,000	0	0	3,465,000				
			差　引	△159,000	△782,000	△391,000	1,014,000	0			
11	町内宿泊施設宿泊費助成事業	第4号補正（6/10） 第10号補正（2/17）	予算額	65,352,000	0	0	65,352,000		0	30,345,000	740
			決算額	35,006,260	0	0	35,006,260				
			差　引	△30,345,740	0	0	△30,345,740	0			
12	保護者費用負担特別軽減事業	第4号補正（6/10） 第11号補正（3/2）	予算額	561,000	0	0	561,000		0	0	22,827
			決算額	538,173	0	0	538,173				
			差　引	△22,827	0	0	△22,827	0			
13	生活応援食材提供事業	第4号補正（6/10） 第11号補正（3/2）	予算額	1,527,000	0	0	1,527,000		0	0	629
			決算額	1,526,371	0	0	1,526,371				
			差　引	△629	0	0	△629	0			
14	図書館書籍消毒機導入事業	第4号補正（6/10） 第11号補正（3/2）	予算額	2,551,000	0	0	2,551,000		0	0	980
			決算額	2,550,020	0	0	2,550,020				
			差　引	△980	0	0	△980	0			
15	公共的空間安全・安心確保事業	第5号補正（7/10） 第7号補正（9/18）	予算額	8,867,000	0	0	8,867,000		511,000	0	978
			決算額	9,377,022	0	0	9,377,022				
			差　引	510,022	0	0	510,022	0			

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（目次）

（単位：円）

番号	事業名	補正予算議決時期	事業費		財源内訳 特定財源 国・道補助金/地方債	財源内訳 特定財源 臨時交付金充当可能額 国庫補助事業【別枠分】	財源内訳 特定財源 臨時交付金充当可能額 地方単独事業	財源内訳 一般財源	流用額	翌年度繰越額	不用額
16	公共施設換気対策事業	第5号補正（7/10） 第7号補正（9/18） 第11号補正（3/2）	予算額	248,342,000	0	0	248,342,000		△1,370,000	0	297
			決算額	246,971,703	0	0	246,971,703				
			差　引	△1,370,297	0	0	△1,370,297	0			
17	公共施設衛生環境改善事業	第5号補正（7/10） 第7号補正（9/18） 第11号補正（3/2）	予算額	40,535,000	0	0	40,535,000		0	0	0
			決算額	40,535,000	0	0	40,535,000				
			差　引	0	0	0	0	0			
18	学童保育所限定開所事業	第5号補正（7/10） 第11号補正（3/2）	予算額	3,543,000	2,346,000	0	1,197,000		0	0	644
			決算額	3,542,356	2,346,000	0	1,196,356				
			差　引	△644	0	0	△644	0			
19	農業担い手支援センターリモート研修環境整備事業	第5号補正（7/10） 第11号補正（3/2）	予算額	1,483,000	0	0	1,483,000		0	0	200
			決算額	1,482,800	0	0	1,482,800				
			差　引	△200	0	0	△200	0			
20	頑張る事業者応援強化事業	第5号補正（7/10） 第11号補正（3/2）	予算額	11,100,000	0	0	11,100,000		0	0	1,900,000
			決算額	9,200,000	0	0	9,200,000				
			差　引	△1,900,000	0	0	△1,900,000	0			
21	町内宿泊施設PR事業	第5号補正（7/10） 第11号補正（3/2）	予算額	166,000	0	0	166,000		0	0	802
			決算額	165,198	0	0	165,198				
			差　引	△802	0	0	△802	0			
22	観光施設誘客促進事業	第5号補正（7/10） 第11号補正（3/2）	予算額	9,058,000	0	0	9,058,000		0	0	560
			決算額	9,057,440	0	0	9,057,440				
			差　引	△560	0	0	△560	0			
23	小・中学校ICT環境整備事業	第5号補正（7/10） 第11号補正（3/2）	予算額	95,480,000	52,869,000	788,000	41,823,000		0	0	0
			決算額	95,480,000	52,825,000	1,610,000	41,045,000				
			差　引	0	△44,000	822,000	△778,000	0			
24	子育て世帯応援給付金事業	第5号補正（7/10）	予算額	19,250,000	0	0	19,250,000		0	0	700,000
			決算額	18,550,000	0	0	18,550,000				
			差　引	△700,000	0	0	△700,000	0			
25	小・中学校修学旅行安全確保事業	第5号補正（7/10） 第11号補正（3/2）	予算額	402,000	0	0	402,000		0	0	720
			決算額	401,280	0	0	401,280				
			差　引	△720	0	0	△720	0			
26	小・中学校感染防止対策事業	第5号補正（7/10）	予算額	716,000	357,000	357,000	2,000		0	0	11
			決算額	715,989	357,000	358,000	989				
			差　引	△11	0	1,000	△1,011	0			
27	図書館パワーアップ事業	第5号補正（7/10）	予算額	5,000,000	0	0	5,000,000		0	0	316
			決算額	4,999,684	0	0	4,999,684				
			差　引	△316	0	0	△316	0			
28	しらかば大学安全確保事業	第5号補正（7/10） 第11号補正（3/2）	予算額	325,000	0	0	325,000		0	0	77,000
			決算額	248,000	0	0	248,000				
			差　引	△77,000	0	0	△77,000	0			
29	社会教育施設感染防止対策事業	第5号補正（7/10）	予算額	2,050,000	843,000	674,000	533,000		0	0	708,000
			決算額	1,342,000	529,000	461,000	352,000				
			差　引	△708,000	△314,000	△213,000	△181,000	0			
30	社会体育施設感染防止対策事業	第5号補正（7/10） 第11号補正（3/2）	予算額	1,396,000	0	0	1,396,000		0	0	648
			決算額	1,395,352	0	0	1,395,352				
			差　引	△648	0	0	△648	0			

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（目次）

（単位：円）

番号	事業名	補正予算議決時期	事業費		財源内訳 特定財源 国・道補助金/地方債	財源内訳 特定財源 臨時交付金充当可能額 国庫補助事業【別枠分】	財源内訳 特定財源 臨時交付金充当可能額 地方単独事業	財源内訳 一般財源	流用額	翌年度繰越額	不用額
31	新型コロナウイルス感染症関連無利子融資円滑化基金造成事業	第7号補正（9/18） 第10号補正（2/17）	予算額	100,082,000	0	0	100,082,000		0	0	332
			決算額	100,081,668	0	0	100,081,668				
			差　引	△332	0	0	△332	0			
32	農商福箱ドライブスルー事業	第7号補正（9/18） 第11号補正（3/2）	予算額	3,314,000	0	0	3,314,000		0	0	279
			決算額	3,313,721	0	0	3,313,721				
			差　引	△279	0	0	△279	0			
33	防災拠点施設感染防止対策事業	第7号補正（9/18） 第11号補正（3/2）	予算額	15,559,000	0	0	15,559,000		666,000	0	2,333
			決算額	16,222,667	0	0	16,222,667				
			差　引	663,667	0	0	663,667	0			
34	夏季休業期間短縮事業	第7号補正（9/18） 第11号補正（3/2）	予算額	5,789,000	0	0	5,789,000		0	0	1,352
			決算額	5,787,648	0	0	5,787,648				
			差　引	△1,352	0	0	△1,352	0			
35	高度無線環境整備推進事業	第7号補正（9/18）	予算額	849,578,000	552,400,000	288,384,000	8,794,000		0	849,578,000	0
			決算額	0	0	0	0				
			差　引	△849,578,000	△552,400,000	△288,384,000	△8,794,000	0			
36	子育て情報配信・オンライン保健指導事業	第7号補正（9/18）	予算額	1,227,000	613,000	613,000	1,000		0	0	237,605
			決算額	989,395	494,000	495,000	395				
			差　引	△237,605	△119,000	△118,000	△605	0			
37	国産農畜産物供給力強靭化対策事業	第7号補正（9/18）	予算額	54,375,000	36,250,000	18,125,000	0		0	0	0
			決算額	54,375,000	36,250,000	14,500,000	3,625,000				
			差　引	0	0	△3,625,000	3,625,000	0			
38	小・中学校感染症対策・学習保障支援事業	第7号補正（9/18）	予算額	31,061,000	15,500,000	15,500,000	61,000		0	0	12,688
			決算額	31,048,312	15,500,000	15,500,000	48,312				
			差　引	△12,688	0	0	△12,688	0			
39	頑張る事業者事業継続支援事業	第10号補正（2/17）	予算額	26,750,000	0	0	26,750,000		0	150,000	0
			決算額	26,600,000	0	0	26,600,000				
			差　引	△150,000	0	0	△150,000	0			
40	医療・福祉施設従事者用宿泊施設確保事業	第11号補正（3/2）	予算額	3,208,000	0	0	3,208,000		0	0	3,208,000
			決算額	0	0	0	0				
			差　引	△3,208,000	0	0	△3,208,000	0			
41	小・中学校教育活動継続支援事業	第13号補正（3/19）	予算額	12,680,000	6,200,000	0	6,480,000		0	12,680,000	0
			決算額	0	0	0	0				
			差　引	△12,680,000	△6,200,000	0	△6,480,000	0			
合　計			予算額	1,806,796,000	690,434,000	324,832,000	791,530,000	(29,692,000)	0	893,926,000	7,898,292
			決算額	904,971,708	130,175,200	32,924,000	741,872,508	(23,092,508)			
			差　引	△901,824,292	△560,258,800	△291,908,000	△49,657,492	△6,599,492			

※一般財源の合計欄は充当可能額のうち限度額を超過している一般財源額
※令和2年度決算書の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費」の予算額及び支出済額との差額は「12款職員費」で計上されている「子育て情報配信・オンライン保健指導事業」に係る正職員時間外勤務手当（予算額116,000円、支出済額110,715円）によるもの。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	1	事業名	新型コロナウイルス対策事業 （アルコール消毒液等の購入）
事業概要	公共施設において新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、アルコール消毒液や液体石けん、使い捨てマスク等を購入する。 また、民生委員・児童委員の活動や乳幼児健診・成人健診などの母子・成人保健事業、介護予防教室などの高齢者支援事業において新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、アルコール消毒液やマスク等を購入する。		

事業費（全体）		事業費	特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	3,875,000	0	0	0	3,875,000	第３号補正（5/15） 第５号補正（7/10）
	決算額	3,862,820	0	0	0	3,862,820	
	差　引	△12,180	0	0	0	△12,180	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	需用費	3,875,000	3,875,000	0	3,875,000	3,862,820	0	12,180
	合　計	3,875,000	3,875,000	0	3,875,000	3,862,820	0	12,180

決算額内訳

【需用費】
i　公共施設感染防止対策用消耗品：2,176,250円
・アルコール消毒液,：1,471,565円
・窓口職員用マスク：348,040円
・液体石けん：147,050円
・その他：209,595円
ii　民生委員・児童委員活動用感染防止対策消耗品：226,720円
・マスク：3,300円×64箱(50枚入)＝211,200円
・アルコールスプレーボトル：180円×64本＝11,520円
・手指消毒液：4,000円×１本(4.5L)＝4,000円
iii　母子・成人保健事業用感染防止対策消耗品：1,071,845円
・マスク：175,483円
・フェイスシールド：110,600円
・クリアパーテーション：219,780円
・除菌・消毒液：411,946円
・その他：154,036円
iv　介護予防事業用感染防止対策消耗品：318,885円
・マスク：164,745円
・フェイスシールド：12,700円
・除菌・消毒液：124,490円
・その他：16,950円
v　百年記念ホール
・アルコール消毒液：8,640円×８缶(15kg)＝69,120円

事業効果

ｉｖ　アルコール消毒液を各公共施設に設置したことで、来庁者・来館者の感染リスクの低減を図ることができた。
ii　民生委員児童委員にマスク、アルコールスプレーを配付したことで、民生委員活動に伴う感染リスクの低減を図ることができた。
iii　母子事業、成人保健事業の実施に際して、スタッフの感染対策をはじめ、利用者が安心安全に事業に参加し健康の維持、増進を図ることができた。
iv　介護予防事業の実施に際して、スタッフの感染防止対策を徹底する体制を整えることができたことで、参加者が安心して参加し、高齢者の心身の機能維持を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	2	事業名	福祉・医療施設等感染予防対策支援事業
事業概要	町内の福祉、医療、介護施設が実施する新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために必要な施設内の消毒等に要する費用の一部を、施設規模に応じて定額で支援する。 【交付金額】 100千円、70千円、50千円（施設の定員等による）		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	3,500,000	0	0	0	3,500,000	第３号補正（5/15）
	決算額	4,290,000	0	0	0	4,290,000	
	差　引	790,000	0	0	0	790,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	3,500,000	3,500,000	790,000	4,290,000	4,290,000	0	0
	合　計	3,500,000	3,500,000	790,000	4,290,000	4,290,000	0	0

決算額内訳	【負担金補助及び交付金】 i　大規模施設（定員100名以上） ・100,000円×４施設＝400,000円 ii　中規模施設（定員20名以上） ・70,000円×12施設＝840,000円 iii　小規模施設（定員19名以下） ・50,000円×61施設＝3,050,000円
事業効果	福祉、医療、介護施設における施設消毒等感染予防対策に係る費用の一部を助成することで、日々、継続的に行われている感染予防対策の支援が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	3	事業名	頑張る事業者応援事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者を継続的に支援するため、３～５月の売上が著しく減少し、国の「持続化給付金」の対象とならない町内の企業や事業者に対して、緊急的かつ臨時的に給付金を交付する。 【交付対象事業者】 町内に本店所在地を登記している中小企業、小規模事業者又は町内に住民票を置く個人事業者で、３～５月のいずれかの月の売上が前年同月と比較して20%以上減少している事業者 【交付金額】 一律300千円		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	48,000,000	0	0	0	48,000,000	第３号補正（5/15）
	決算額	47,100,000	0	0	0	47,100,000	
	差　引	△900,000	0	0	0	△900,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	48,000,000	48,000,000	0	48,000,000	47,100,000	0	900,000
	合　計	48,000,000	48,000,000	0	48,000,000	47,100,000	0	900,000

決算額内訳	【負担金補助及び交付金】 交付対象事業者数 ・300,000円×157事業者＝47,100,000円
事業効果	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内の中小企業、小規模事業者及び個人事業者に対して臨時特例的な給付措置として給付金を交付することで、国の「持続化給付金」の対象とならない場合であっても、事業の継続を支援することができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	4	事業名	飲食店・ホテル等緊急支援事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内の飲食店、ホテル及び旅館に対して、緊急的かつ臨時的に給付金を交付する。 【交付対象事業者】 北海道の新型コロナウイルス感染症に係る休業要請等の対象施設一覧において、基本的に休業要請を行わない施設となっている食事提供施設、ホテル及び旅館 【交付金額】 一律100千円		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	8,290,000	0	0	0	8,290,000	第３号補正（5/15） 第11号補正（3/2）
	決算額	7,500,000	0	0	0	7,500,000	
	差　引	△790,000	0	0	0	△790,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	8,290,000	8,290,000	△790,000	7,500,000	7,500,000	0	0
	合　計	8,290,000	8,290,000	△790,000	7,500,000	7,500,000	0	0

決算額内訳	【負担金補助及び交付金】 交付対象事業者数 ・100,000円×75事業者＝7,500,000円
事業効果	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内飲食店及びホテルに対して、臨時特例的な給付措置として給付金を交付することで、事業の継続を支援することができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	5	事業名	新型コロナウイルス感染症関連融資円滑化事業
事業概要	町内の中小企業者が新型コロナウイルス感染症の影響により、国、北海道及び金融機関において借り受ける融資に係る利息及び保証料の全額を補給する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	100,000	0	0	0	100,000	第３号補正（5/15）
	決算額	0	0	0	0	0	
	差　引	△100,000	0	0	0	△100,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	100,000	100,000	0	100,000	0	0	100,000
	合　計	100,000	100,000	0	100,000	0	0	100,000

決算額内訳	【負担金補助及び交付金】 ※　支出なし
事業効果	※　本事業計画後に「新型コロナウイルス感染症特別貸付」等のメニューが国から提示されたため、本事業としては実施せず。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	6	事業名	スーパープレミアム商品券発行事業

事業概要

「緊急感染防止期」を脱した後、消費の喚起と経済の循環を図るため、プレミアム率50%（うち、30%分を飲食店及び宿泊業に限定）とするスーパープレミアム商品券を幕別町商工会が発行し、このうち町がプレミアム分と事務費を補助する。

【発行内容】

7,500円分の商品券１セットを5,000円で15,000セット販売。

2,500円分（プレミアム率50%）のうち、1,500円分（プレミアム率30%）を飲食店及び宿泊業に限定する。（商品券発行額7,500円×15,000セット＝112,500千円）

事業費（全体）

	事業費	特定財源				補正時期
		国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
				国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
予算額	44,626,000	7,474,000	0	0	37,152,000	第３号補正（5/15） 第11号補正（3/2）
決算額	44,625,807	7,474,200	0	0	37,151,607	
差　引	△193	200	0	0	△393	

充当可能予算額と決算額等

節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
負担金補助及び交付金	44,626,000	44,626,000	0	44,626,000	44,625,807	0	193
合　計	44,626,000	44,626,000	0	44,626,000	44,625,807	0	193

決算額内訳

【負担金補助及び交付金】

i　商品券（プレミアム分）
　500円×（2,500円/7,500円）×224,226枚＝37,371,000円

ii　商品券等印刷費：3,654,635円

iii　広告宣伝費：838,013円

iv　事務経費：2,682,509円

v　保険料：79,650円

事業効果

スーパープレミアム商品券の発行により、町全体で１億1,250万円の経済効果が図られた。

特に新型コロナウイルスの影響により経済的な影響が大きい飲食店と宿泊業に限り使用できる商品券としてプレミアム率30%を上乗せしたことで、商品券全体の48.3%が飲食店と宿泊業で使用され、地域における消費拡大と経済活性化に寄与することができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	7	事業名	公共施設感染防止対策事業
事業概要	緊急事態宣言解除後において、各公共施設の利用者に対して新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を周知するため、各施設に注意喚起の看板（掲示物）を設置（貼付）する。 また、来庁者や職員同士の感染防止を図るため、公共施設の窓口や役場執室内及び学校職員室内にパーテーションを設置する。		

事業費（全体）		事業費	特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	420,000	0	0	0	420,000	第４号補正（6/10）
	決算額	1,123,320	0	0	0	1,123,320	
	差　引	703,320	0	0	0	703,320	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	需用費	13,000	13,000	704,000	717,000	716,320	0	680
	原材料費	407,000	407,000	0	407,000	407,000	0	0
	合　計	420,000	420,000	704,000	1,124,000	1,123,320	0	680

決算額内訳	
	【需用費】 i　消耗品費（ラミネートフィルム） ・5,600円×２セット（100枚入/セット）×税＝12,320円 （流用対応） ii　職員及び学校教職員執務室（職員室）用パーテーション設置：704,000円 ・1,950円×320個×税＝686,400円 ・2,000円×　８個×税＝ 17,600円 【原材料費】 i　環境整備用資材（看板材料費）：290,356円 ・コンパネ：1,380円×８枚×税＝12,144円 ・垂木：650円×20本×税＝14,300円 ・杭：320円×11本×税＝3,872円 ・看板（柱、板、組立費）：1,450円×150枚×税＝239,250円 ・コンクリートブロック：1,000円×６個×税＝6,600円 ・雑資材：14,190円 （執行残対応） ii　公共施設窓口パーテーション設置用アクリル板：116,644円 ・7,500円×６枚×税＝49,500円 ・6,808円×５枚×税＝37,444円 ・4,500円×６枚×税＝29,700円
事業効果	新型コロナウイルス感染症の感染予防に関する看板設置することで、公園利用者に対して注意喚起が図られた。 また、公共施設の窓口や役場執室内及び学校職員室内にパーテーションを設置することで、感染予防が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	8	事業名	テレワーク環境構築事業
事業概要	事務所内における３つの密（密閉・密集・密接）を回避するため、テレワーク（在宅勤務や分散勤務）を実施できる環境を構築することで、ビジネススタイルを変革し、感染リスクを低減させる「新しい生活様式」の実践に取り組む。 また、テレビ会議システムを導入することで、本庁舎外からでも会議に参加できる環境を合わせて構築する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	14,786,000	0	0	0	14,786,000	第４号補正（6/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	14,779,780	0	0	0	14,779,780	
	差　引	△6,220	0	0	0	△6,220	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	役務費	1,519,000	1,519,000	0	1,519,000	1,514,902	0	4,098
	委託料	7,978,000	7,978,000	0	7,978,000	7,977,530	0	470
	備品購入費	5,289,000	5,289,000	0	5,289,000	5,287,348	0	1,652
	合　計	14,786,000	14,786,000	0	14,786,000	14,779,780	0	6,220

決算額内訳

【役務費】
ⅰ　専用回線料：88,202円
　・ 6,362円×１か月＝ 6,362円
　・13,640円×６か月＝81,840円
ⅱ　パソコン通信料
　・181,500円×６か月＝1,089,000円
ⅲ　テレビ会議システムサーバー年間使用料：337,700円
【委託料】
テレワーク環境構築委託料：7,977,530円
　・パソコン端末及び庁内ネットワーク等設定業務：7,931,000円
　・モバイル回線等設定登録業務：46,530円
【備品購入費】
テレワーク用備品：5,287,348円
　・パソコン端末（30台）：4,268,000円
　・WEB会議用スピーカー：19,800円×４台×税＝87,120円
　・USBマイクロホン：3,700円×17個×税＝69,190円
　・WEBカメラ用卓上スタンド等：130,328円
　・オンライン会議用集音マイク等（本庁舎用）：165,000円
　・オンライン会議用機材保管庫：49,500円
　・オンライン会議用モニター等(本庁舎用)：176,110円
　・オンライン会議用モニター等（忠類総合支所用）：171,050円
　・オンライン会議用モニター等（教育委員会用）：171,050円

事業効果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、在宅勤務やＷＥＢ会議等のリモートワーク、３密に配慮した執務室の分散など、多様な働き方への形態転換に必要な環境の構築を行った。
①テレワーク用パソコンを使用したテレワークが可能となり、緊急時に自宅等での勤務ができる体制が整った。（３密回避、在宅勤務）
②本庁舎内無線ＡＰ（アクセスポイント）を構築し、ＬＡＮ配線がなくても情報系パソコンを使用できるようになり、会議室などへ移動しての業務が可能となった。（３密回避、執務室の分散）
③TV会議システムの導入により、本庁舎以外の勤務者が本庁に集まらずに会議へ参加できるようになり、移動時間の縮減、業務の効率化につながった。また、各種ＷＥＢ会議に参加できる体制が整った。（３密回避、リモートワーク）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	9	事業名	指定避難所感染防止対策事業

事業概要

　指定避難所における感染防止対策のための備蓄物資や避難者間の飛沫感染を防止するパーテーション、定期的な換気に伴う室温低下を防ぐジェットヒーターを導入する。また、感染症発症者の隔離に伴う対策として、災害用トイレ、発電機及びバルーンライトを導入する。
　指定避難所となる小・中学校における屋内運動場トイレの衛生環境を改善するため、洋式化改修工事を実施する。
　災害発生時において感染防止対策用備品（飛沫感染防止用パーテーション、ジェットヒーター、災害用トイレ）等の資機材を迅速かつ効率的に防災備蓄倉庫から指定避難所に運搬するため、専用のコンテナ車を導入する。
　避難所開設時に新型コロナウイルス感染症を発症又は発症の疑いがある避難者を指定避難所内の別室に誘導するため、事前受付として一人ひとり体温測定や健康チェックを実施する必要があることから、避難者の待機用エアーテントを導入する。

事業費（全体）

	事業費	特定財源				補正時期
		国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
				国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
予算額	58,248,000	14,800,000	0	0	43,448,000	第４号補正（6/10） 第５号補正（7/10） 第11号補正（3/2）
決算額	56,721,922	14,400,000	0	0	42,321,922	
差　引	△1,526,078	△400,000	0	0	△1,126,078	

充当可能予算額と決算額等

節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
需用費	2,500,000	2,500,000	0	2,500,000	2,499,812	0	188
工事請負費	19,118,000	19,118,000	0	19,118,000	19,118,000	0	0
備品購入費	36,630,000	36,630,000	△1,525,000	35,105,000	35,104,110	0	890
合　計	58,248,000	58,248,000	△1,525,000	56,723,000	56,721,922	0	1,078

決算額内訳

【需用費】
感染防止対策用消耗品費：2,499,812円
　・マスク、非接触型体温計、液体石けん、アルコール消毒液ほか
【工事請負費】
小・中学校屋内運動場トイレ改修工事（小・中学校14校）：19,118,000円
【備品購入費】
感染防止対策用備品：35,104,110円
　・飛沫感染防止用パーテーション（512個）：14,243,900円
　・ジェットヒーター（18台）：2,959,000円
　・災害用トイレ（６台）：1,716,000円
　・発電機及びバルーンライト（各６台）：1,497,870円
　・エアーテント一式ほか：6,251,850円
　・感染防止資機材運搬用コンテナ車（１台）：8,435,490円

事業効果

　災害発生時に住民が密集する指定避難所において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策は極めて重要である。
　本事業においては、避難者受入れの際に健康な方と感染者、感染の疑いのある方を区分するために屋外に設置が必要な大型のエアーテント、避難所生活において飛沫感染を防ぐためのパーテーションや換気後の室温を回復するためのジェットヒーター、感染者を隔離した部屋で使用するバルーンライトや発電機、その他衛生管理に必要な消毒液などの消耗品を備蓄することが出来た。
　また、指定避難所となる小・中学校において、屋内運動場トイレを洋式化することにより衛生環境が改善されるとともに、高齢者等かがむことが困難な方々に対しての利便性の向上も図られた。
　加えて、専用のコンテナ車を導入することにより、災害発生時に感染防止対策用の大量の資機材を迅速かつ効率的に防災備蓄倉庫から指定避難所に運搬することが可能となった。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	10	事業名	子育て支援施設感染防止対策事業

事業概要

保育所における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、次亜塩素酸水生成装置を導入する。
新型コロナウイルスの感染防止のための換気対策を適切に行うため、発達支援センターの第２プレイルームに換気機能の付いたエアコンを設置する。
また、発達支援センターにおいて、集団療育時に待合室のマジックミラーで参観している保護者の３密を回避するため、プレイルーム（療育室）にビデオカメラを設置し、十分なソーシャルディスタンスを確保できる別室で、テレビモニターによる参観が可能となるよう管理用備品を購入する。

事業費（全体）

	事業費	特定財源				補正時期
		国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
				国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
予算額	3,624,000	782,000	0	391,000	2,451,000	第４号補正（6/10） 第７号補正（9/18） 第11号補正（3/2）
決算額	3,465,000	0	0	0	3,465,000	
差　引	△159,000	△782,000	0	△391,000	1,014,000	

充当可能予算額と決算額等

節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
需用費	723,000	723,000	0	723,000	0	723,000	0
工事請負費	1,177,000	1,177,000	0	1,177,000	1,177,000	0	0
備品購入費	1,724,000	1,724,000	1,014,000	2,738,000	2,288,000	450,000	0
合　計	3,624,000	3,624,000	1,014,000	4,638,000	3,465,000	1,173,000	0

決算額内訳

【需用費】
令和３年度へ全額繰越
【工事請負費】
発達支援センターエアコン設置工事：1,177,000円
【備品購入費】
ⅰ　次亜塩素酸水生成装置：990,000円
・225,000円×４台（常設保育所３箇所、忠類保育所）×税＝990,000円
・令和３年度へ一部繰越（450,000円）
ⅱ　発達支援センター備品：555,500円
・ビデオカメラ（SDカード含む）：60,900円×３台×税＝200,970円
・カメラ三脚：10,000円×２脚×税＝22,000円
・液晶テレビ：82,000円×２台×税＝180,400円
・ディスプレイスタンド：49,050円×２脚×税＝107,910円
・HDMIケーブル・アダプター：13,400円×３個×税＝44,220円
ⅲ　忠類保育所グランド用テント：742,500円

事業効果

集団療育を行う発達支援センターの第２プレイルームに換気機能付きのエアコンを設置したことにより、恒常的な換気を実施でき、幼児・児童の感染リスクの低減が図られた。

ⅰ　次亜塩素酸水生成装置を町立保育所（常設３箇所、忠類保育所）に導入することで、アルコール消毒液が入手困難な状況になった場合になっても、消毒剤を生成することができ、新型コロナウイルス等の感染拡大防止に備えることができた。
ⅱ　発達支援センターにおける小集団療育の際、ビデオカメラと液晶テレビを使用することにより、これまで１箇所であった観察室を２箇所に分けることができ、保護者間で十分な距離をとって観察できるようになった。また、小集団療育の回数が増加しているため、ビデオカメラが３台あることで、療育が続く場合でも円滑に対応することが可能となった。
ⅲ　次年度の保育所事業における園庭保育や運動会等の屋外活動において、児童のソーシャルディスタンスを確保することができ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に寄与することができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	11	事業名	町内宿泊施設宿泊費助成事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症により影響を受けている町内宿泊施設に対する経営支援と地域住民に向けた地域単位の観光振興策として、町民に限定（10月～十勝管内在住者に拡充）して町内宿泊施設の宿泊費の２分の１以内（上限5,000円／１人）を助成する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	65,352,000	0	0	0	65,352,000	第４号補正（6/10） 第10号補正（2/17）
	決算額	35,006,260	0	0	0	35,006,260	
	差　引	△30,345,740	0	0	0	△30,345,740	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	役務費	352,000	352,000	0	352,000	144,760	207,000	240
	負担金補助及び交付金	65,000,000	65,000,000	0	65,000,000	34,861,500	30,138,000	500
	合　計	65,352,000	65,352,000	0	65,352,000	35,006,260	30,345,000	740

決算額内訳	【役務費】 広告料：144,760円 ・地元情報誌広告　111,760円×１か月 ・地元新聞紙月極臨時広告　33,000円×１か月 【負担金補助及び交付金】 令和２年度（実績） 8,753人(9,054泊)　34,861,500円
事業効果	町内宿泊施設３箇所への誘客促進により、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊者数の減少に苦しむ宿泊施設の支援につながった。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	12	事業名	保護者費用負担特別軽減事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響による会社の倒産や休業・離職などを理由に収入が減少し、子どもの学用品費等の支払いが困難となる保護者の負担を軽減するため、直近の世帯の収入状況により再計算し、生活保護基準の1.3倍未満となる世帯について特例的に就学援助費の認定を行う。 また、同様の基準により、修学支援資金の給付の認定を行う。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	561,000	0	0	0	561,000	第４号補正（6/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	538,173	0	0	0	538,173	
	差　引	△22,827	0	0	0	△22,827	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	152,000	152,000	0	152,000	151,600	0	400
	扶助費	409,000	409,000	0	409,000	386,573	0	22,427
	合　計	561,000	561,000	0	561,000	538,173	0	22,827

決算額内訳	
	【負担金補助及び交付金】 修学支援資金：151,600円 ［対象者：２世帯２人］ １期：50,400円、２期：50,400円、３期：50,800円 （公立第１子：75,800円×２人＝151,600円） 【扶助費】 i　給食費扶助：189,848円 ［対象者：３世帯４人］ ii　学用品費扶助：64,430円 （小学校）１人×11,630円＝11,630円 ２人×13,900円＝27,800円 （中学校）１人×25,000円＝25,000円 iii　体育用品費扶助：11,810円 （小学生）１人×11,810円＝11,810円 iv　修学旅行費扶助：43,775円 （小学校）１人×15,053円＝15,053円 （中学校）１人×28,722円＝28,722円 v　新入学用品費扶助：51,060円 （小学校）１人×51,060円＝51,060円 vi　クラブ活動費扶助：支出なし vii　生徒会費扶助：1,000円 （中学校）１人×1,000円＝1,000円 viii　PTA会費扶助：6,500円 （小学校）２世帯×2,000円＝4,000円 （中学生）１世帯×2,500円＝2,500円 ix　卒業アルバム費扶助：18,150円 （小学校）１世帯×9,350円＝9,350円 （中学生）１世帯×8,800円＝8,800円
事業効果	新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した保護者に学用品費等を扶助することで、保護者の負担軽減が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	13	事業名	生活応援食材提供事業
事業概要	小・中学校休業期間中において生活保護世帯及び準要保護世帯の自宅での昼食に費用負担が発生していることから、生活保護世帯及び準要保護世帯に属する小中学生の保護者を応援するため、給食費に相当する食材（児童生徒１人当たり4,000円相当）を提供する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	1,527,000	0	0	0	1,527,000	第４号補正（6/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	1,526,371	0	0	0	1,526,371	
	差　引	△629	0	0	0	△629	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	需用費	1,302,000	1,302,000	0	1,302,000	1,301,432	0	568
	役務費	225,000	225,000	0	225,000	224,939	0	61
	合　計	1,527,000	1,527,000	0	1,527,000	1,526,371	0	629

決算額内訳	
	【需用費】 消耗品費（段ボール）　：51,559円 （小）180円×166個×税＝32,868円 （大）236円×　72個×税＝18,691円 食材料費（生活困窮世帯に属する児童生徒１人当たり4,000円相当の食材を提供する） 児童生徒１人世帯（156世帯） 児童生徒２人世帯（ 56世帯） 児童生徒３人世帯（ 10世帯） 児童生徒４人世帯（　3世帯） 合計 1,249,873円（225世帯（310人分）） 【役務費】 宅配便送料：224,939円 （小：クール）　737円×　53個＝ 39,061円 （中：クール）1,012円×163個＝164,956円 （大：クール）1,342円×　10個＝ 13,420円 （中：通常　）　682円×　11個＝　7,502円

事業効果	生活保護世帯及び準要保護世帯に対し、小・中学校休業期間中おける食材を提供することで、自宅での昼食に係る費用負担の軽減が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	14	事業名	図書館書籍消毒機導入事業
事業概要	図書館利用における新型コロナウイルス感染症対策として、紫外線による除菌と風力による髪の毛等のゴミやホコリなどの除去が可能な書籍消毒機を図書館に導入する。		

事業費（全体）		事業費	特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	2,551,000	0	0	0	2,551,000	第４号補正（6/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	2,550,020	0	0	0	2,550,020	
	差　引	△980	0	0	0	△980	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	備品購入費	2,551,000	2,551,000	0	2,551,000	2,550,020	0	980
	合　計	2,551,000	2,551,000	0	2,551,000	2,550,020	0	980

決算額内訳	【備品購入費】 ・図書館３館分書籍消毒機：2,550,020円 （本体及び専用台、運送梱包手数料、搬入セットアップ、初年度保守費用、消耗品代含む）
事業効果	書籍消毒機を図書館に導入することにより、紫外線によるウイルス除菌のほか、不衛生な髪の毛やゴミ、ホコリ等の除去が可能になることで、利用者が安心し、快適に本を借りることが可能となった。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	15	事業名	公共的空間安全・安心確保事業

事業概要

札内支所待合室における来庁者の混雑緩和による感染機会の低減と利便性の確保を図るため、統合端末機器とＰＯＳレジ・自動釣銭機を増設する。また、タッチパネル式受付番号発券機及び電子表示パネル等を設置する。
役場庁舎会議室において、ソーシャルディスタンスの確保と換気対策に対応した会議を行うため、会議室用マイク等の増設と、窓や出入口の開放により発言が明瞭に伝わるために天井埋込型スピーカー等の音響機器を設置する。
図書館における感染防止対策として、幕別本館と札内分館、忠類分館の閲覧コーナーの間仕切り板の設置と、忠類分館の閲覧コーナーでの密接を回避するため閲覧テーブルの入れ替え、幕別本館の視聴覚コーナーのパーテーションを設置する。

事業費（全体）

	事業費	特定財源				補正時期
		国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
				国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
予算額	8,867,000	0	0	0	8,867,000	第５号補正（7/10） 第７号補正（9/18）
決算額	9,377,022	0	0	0	9,377,022	
差　引	510,022	0	0	0	510,022	

充当可能予算額と決算額等

節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
備品購入費	8,867,000	8,867,000	511,000	9,378,000	9,377,022	0	978
合　計	8,867,000	8,867,000	511,000	9,378,000	9,377,022	0	978

決算額内訳

【備品購入費】
ⅰ　札内支所管理用備品：6,017,935円
・統合端末機器（１台）：962,500円
・ＰＯＳレジ・自動釣銭機（１台）：3,044,635円
・番号発券機一式：1,958,000円
（タッチパネル式受付番号発券機（２台）、電子表示パネル（５台）、操作モニター（７台）ほか）
・マイナンバー案内吊下げサイン：52,800円
ⅱ　庁舎管理用備品：2,530,000円
・役場庁舎会議室音響機器一式：1,881,000円
（流用対応）
・議場パーテーション（60枚）：590,000円×税＝649,000円
ⅲ　図書館感染防止対策用備品：829,087円
・本館AVコーナー用パネルパーティション一式：160,314円
・半透明アクリル製間仕切り板一式：473,523円
（本館146,509円　札内分館263,269円　忠類分館63,745円
・忠類分館用閲覧テーブル木製　２台：195,250円

事業効果

ⅰ　番号発券機、ＰＯＳレジ等の導入により、札内支所待合室の混雑が緩和され、感染機会の低減と利便性の向上が図られた。
ⅱ　会議室用スピーカーとマイクの増設、議場にパーテーションを導入することにより、ソーシャルディスタンスが確保され、感染リスクの軽減が図られた。
ⅲ　幕別本館の視聴覚コーナーにパーテーションを設置することで、他の利用者と密接する機会の低減が図られた。また、忠類分館の閲覧コーナーのテーブルの入れ替え及び全館の閲覧コーナーにおいて間仕切り板を設置することで、飛沫による感染防止対策が図られ、来館者が安心・安全に利用することが可能となった。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	16	事業名	公共施設換気対策事業
事業概要	不特定多数の住民が利用する公共施設の網戸未設置箇所に網戸を設置する等の換気対策を実施することで、新型コロナウイルス感染症の感染機会の低減を図る。 新型コロナウイルスの感染防止のための換気対策を適切に行うため、町内全ての小・中学校における普通教室と職員室及び校長室に換気機能の付いたエアコンを設置する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	248,342,000	0	0	0	248,342,000	第５号補正（7/10） 第７号補正（9/18） 第11号補正（3/2）
	決算額	246,971,703	0	0	0	246,971,703	
	差　引	△1,370,297	0	0	0	△1,370,297	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	工事請負費	248,342,000	248,342,000	△1,370,000	246,972,000	246,971,703	0	297
	合　計	248,342,000	248,342,000	△1,370,000	246,972,000	246,971,703	0	297

決算額内訳	
	【工事請負費】 i　網戸設置工事：13,282,203円 ・忠類コミュニティセンター：957,000円 ・小・中学校屋内運動場：10,914,343円 ・百年記念ホール：436,040円 ・札内スポーツセンター：584,100円 ・農業者トレーニングセンター：390,720円 ii　排煙窓修繕工事 ・札内南コミュニティセンター集会室：379,500円 iii　小・中学校エアコン設置工事 ・小中学校14校（全162台）：233,310,000円
事業効果	不特定多数の住民が利用する公共施設に網戸を設置することで、適切な換気が可能となり、感染リスクの低減が図られた。 また、小中学校の各教室に換気機能付きのエアコンを設置することにより、効率の良い換気と室内温度の調整が可能となった。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	17	事業名	公共施設衛生環境改善事業
事業概要	公共施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に合わせて、防災の観点からも避難所に指定されている公共施設における衛生環境の改善を図るため、不特定多数の住民の利用が見込まれる主要な公共施設と通年利用可能な観光施設におけるトイレ洋式化改修工事及び手洗い場の自動水栓工事を実施する。		

事業費（全体）		事業費	特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	40,535,000	0	0	0	40,535,000	第５号補正（7/10） 第７号補正（9/18） 第11号補正（3/2）
	決算額	40,535,000	0	0	0	40,535,000	
	差　引	0	0	0	0	0	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	工事請負費	40,535,000	40,535,000	0	40,535,000	40,535,000	0	0
	合　計	40,535,000	40,535,000	0	40,535,000	40,535,000	0	0

決算額内訳	【工事請負費】 トイレ洋式化改修工事・手洗自動水栓化工事：40,535,000円 ・札内コミプラ（東コミセン側）：1,559,436円 ・保健福祉センター：2,393,533円 ・老人福祉センター：990,000円 ・幕別南コミセン：2,414,418円 ・幕別北コミセン：1,593,133円 ・札内南コミセン：2,361,307円 ・札内北コミセン：186,123円 ・忠類コミセン：969,624円 ・葬斎場：693,000円 ・アルコ２３６：3,280,167円 ・道の駅・忠類：581,774円 ・ふれあいセンター福寿：1,250,623円 ・町民会館：7,145,034円 ・百年記念ホール：7,001,486円 ・札内スポセン：7,152,564円 ・ナウマン象記念館：484,812円 ・図書館（本館）：477,966円
事業効果	不特定多数の住民の利用が見込まれる主要な公共施設と通年利用可能な観光施設、避難所に指定されている公共施設のトイレ洋式化改修工事と手洗い場の自動水栓工事を実施したことにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策、衛生環境の改善を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	18	事業名	学童保育所限定開所事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策による小学校の臨時休業に伴い、全ての学童保育所で、４月20日から５月31日までの間、平日は午前８時（土曜日は午前８時30分）から限定的に開所する。		

事業費（全体）		事業費	特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	3,543,000	2,346,000	0	0	1,197,000	第５号補正（7/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	3,542,356	2,346,000	0	0	1,196,356	
	差　引	△644	0	0	0	△644	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	報酬	3,182,000	3,182,000	0	3,182,000	3,181,883	0	117
	共済費	361,000	361,000	0	361,000	360,473	0	527
	合　計	3,543,000	3,543,000	0	3,543,000	3,542,356	0	644

決算額内訳

【報酬】
４月20日から５月31日までの計32日間（４月：９日間、５月：23日間）
・主任支援員：　666,753円
・支　援　員：1,500,493円
・補助支援員：1,014,637円
　　計　　：3,181,883円
【共済費】
・主任支援員：　106,002円
・支　援　員：　233,326円
・補助支援員：　　21,145円
　　計　　：　360,473円

事業効果

小学校の臨時休校の期間（４月20日から５月31日までの計32日間）に、午前中から学童保育所を開設することにより、就労する保護者に対しての支援の一助となった。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	19	事業名	農業担い手支援センターリモート研修環境整備事業
事業概要	幕別町農業振興公社が運営する「まくべつ農村アカデミー」において、農業知識を習得するために遠隔地からリモート研修授業やリモート会議を実施できる環境を構築するため、パソコンを購入する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	1,483,000	0	0	0	1,483,000	第５号補正（7/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	1,482,800	0	0	0	1,482,800	
	差　引	△200	0	0	0	△200	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	備品購入費	1,483,000	1,483,000	0	1,483,000	1,482,800	0	200
	合　計	1,483,000	1,483,000	0	1,483,000	1,482,800	0	200

決算額内訳	【備品購入費】 研修用パソコン（７台（設定費含む））：1,482,800円
事業効果	「まくべつ農村アカデミー」の研修生が農業知識を習得するために遠隔地からリモート研修授業やリモート会議を実施できる環境を構築したことで、地域農業を担う農業経営者、後継者等の育成を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	20	事業名	頑張る事業者応援強化事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者のうち、「新北海道スタイル」の実践に取り組む事業者を継続的に支援するため、３～６月の売上が著しく減少し、国の「持続化給付金」の対象とならない町内の企業や事業者に対して、緊急的かつ臨時的に給付金を交付する。 【交付対象事業者】 町内に本店所在地を登記している中小企業、小規模事業者又は町内に住民票を置く個人事業者のうち、「新北海道スタイル」の実践に取り組む事業者で、３～６月の月平均の売上が前年同期間と比較して20%以上減少し、かつ月平均の減少額が200千円以上の事業者 【交付金額】 前年同期間△20%以上かつ月平均200千円以上300千円未満の減少額：一律200千円 前年同期間△20%以上かつ月平均300千円以上の減少額：一律500千円		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	11,100,000	0	0	0	11,100,000	第５号補正（7/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	9,200,000	0	0	0	9,200,000	
	差　引	△1,900,000	0	0	0	△1,900,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	11,100,000	11,100,000	0	11,100,000	9,200,000	0	1,900,000
	合　計	11,100,000	11,100,000	0	11,100,000	9,200,000	0	1,900,000

決算額内訳	【負担金補助及び交付金】 交付対象事業者数　19事業者：9,200,000円 200,000円×１事業者＝　200,000円 500,000円×18事業者＝9,000,000円
事業効果	新型コロナウイルス感染症が長期化する中、経済的影響を受けている町内の中小企業、小規模事業者及び個人事業者に対して臨時特例的な給付措置として給付金を交付することで、国の「持続化給付金」事業の対象とならない場合であっても、事業の継続を支援することができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	21	事業名	町内宿泊施設ＰＲ事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症により、町内の観光や宿泊・飲食、物産事業が大きな影響を受けていることから、経済活動の回復を図るため、町民を対象とした町内宿泊施設への誘客促進ＰＲを行う。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	166,000	0	0	0	166,000	第５号補正（7/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	165,198	0	0	0	165,198	
	差　引	△802	0	0	0	△802	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	166,000	166,000	0	166,000	165,198	0	802
	合　計	166,000	166,000	0	166,000	165,198	0	802

決算額内訳	【負担金補助及び交付金】 ⅰ　パンフレット作成及び町内全戸配布（10,500戸へ道新折込及びポスティング）：341,790円 ⅱ　地元情報誌広告（２回）：253,000円 ⅲ　地元新聞紙月極臨時広告　33,000円×２月＝66,000円 計　660,790円（うち、中小・小規模事業者感染予防対策等緊急支援事業費補助金(道補助）495,592円） [補助金交付額]　事業費660,790円－道補助495,592円＝165,198円
事業効果	パンフレットの配布及び広告の掲載により、宿泊施設３箇所への誘客を促進し、新型コロナウイルスに苦しむ宿泊施設を支援することができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	22	事業名	観光施設誘客促進事業

事業概要

新型コロナウイルス感染症の拡大により、大きく影響を受けているアルコ２３６と道の駅・忠類において、感染防止対策と更なる誘客を促進し、経済活動の回復を図ることを目的に、次のとおり取り組む。
・道の駅・忠類売店コーナーにおいて、新たな誘客促進に向けた取組として、現在取り扱いの少ない生鮮食品や保冷を要する商品等を保存できる冷蔵ショーケース等を購入する。
・アルコ２３６宿泊受付において、飛沫感染を防止する対面式アクリルスタンドを設置する。
・アルコ２３６において、宿泊客や宴会利用者の送迎にあたり、車内における３つの密（密閉・密集・密接）を回避し利便性向上を図るため、送迎用バスを増台する。

事業費（全体）

	事業費	特定財源				補正時期
		国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
				国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
予算額	9,058,000	0	0	0	9,058,000	第５号補正（7/10） 第11号補正（3/2）
決算額	9,057,440	0	0	0	9,057,440	
差　引	△560	0	0	0	△560	

充当可能予算額と決算額等

節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
備品購入費	9,058,000	9,058,000	0	9,058,000	9,057,440	0	560
合　計	9,058,000	9,058,000	0	9,058,000	9,057,440	0	560

決算額内訳

【備品購入費】
ⅰ　冷蔵・冷凍ショーケース（各１台）：1,474,000円
ⅱ　対面式アクリルスタンド：22,880円
ⅲ　アルコ２３６送迎用バス一式
　（29人乗り、2WD、ディーゼル）：7,560,560円

事業効果

ⅰ　コロナ回復期に向け、過去に取り扱いができなかった保冷を要する地場産品（生鮮野菜、乳製品等）を販売することで、新たな取組みによる地場産品のＰＲと販売促進が図られた。
ⅱ　アクリルスタンドをアルコ２３６のフロントに設置したことにより、来客者との感染リスクの軽減が図られた。
ⅲ　送迎バスの導入により、増台による乗客の分散及び車内の密回避が実現し、運転手と乗客又は乗客同士の感染リスクの軽減が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	23	事業名	小・中学校ＩＣＴ環境整備事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響により、小・中学校の臨時休業期間中も切れ目ない学習環境を提供するため、国が目指す「１人１台端末」と学校における高速通信ネットワークを整備する「新しいＩＣＴ環境」の構築（ＧＩＧＡスクール構想の実現）との連携により、児童・生徒、教員が学校や自宅で使うタブレット端末と緊急時における家庭でのオンライン学習環境を整備する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	95,480,000	52,869,000	0	788,000	41,823,000	第５号補正（7/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	95,480,000	52,825,000	0	1,610,000	41,045,000	
	差　引	0	△44,000	0	822,000	△778,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	役務費	0	0	0	0	0	0	0
	委託料	1,386,000	1,386,000	0	1,386,000	1,386,000	0	0
	備品購入費	94,094,000	94,094,000	0	94,094,000	94,094,000	0	0
	合　計	95,480,000	95,480,000	0	95,480,000	95,480,000	0	0

決算額内訳	【役務費】 ※　支出なし 【委託料】 GIGAスクールサポーター1,386,000円 【備品購入費】 ⅰ　教育用ＩＣＴ機器：93,500,000円 ・ 教育用ＩＣＴ機器（タブレット端末）　計2,446台 （児童・生徒2,104台、教職員222台、故障対応120台） ・ 設定費・運用支援ツール：2,446台 ・ 管理設計費 ・ オンライン学習通信機器 （WEBカメラ/ワイヤレスヘッドセット：70台） ⅱ　WI-Fi端末（60台）：594,000円
事業効果	新型コロナウイルス感染症の影響により、小・中学校の臨時休業期間中も切れ目ない学習環境を提供するため早期に整備することが可能となった。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	24	事業名	子育て世帯応援給付金事業
事業概要	就学援助の認定を受けている小・中学校の児童・生徒の保護者又は北海道公立高校生等奨学給付金等若しくは町の修学支援資金の給付の認定を受けている高校生の保護者に対する経済的負担を軽減するため、児童・生徒１人当たり50千円を臨時的に支給する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	19,250,000	0	0	0	19,250,000	第５号補正（7/10）
	決算額	18,550,000	0	0	0	18,550,000	
	差　引	△700,000	0	0	0	△700,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	19,250,000	19,250,000	0	19,250,000	18,550,000	0	700,000
	合　計	19,250,000	19,250,000	0	19,250,000	18,550,000	0	700,000

決算額内訳	【負担金補助及び交付金】 子育て世帯応援給付金 50,000円/人×給付対象数371人＝18,550,000円
事業効果	就学援助の認定を受けている小・中学校の児童・生徒の保護者又は北海道公立高校生等奨学給付金等若しくは町の修学支援資金の給付の認定を受けている高校生の保護者に対し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担を軽減が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	25	事業名	小・中学校修学旅行安全確保事業
事業概要	小・中学校の修学旅行において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として３つの密（密閉・密集・密接）を回避するため、バスの追加借上げに伴い増加する高速道路使用料等の経費が生じる場合に、小・中学校に対して追加経費を補助する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	402,000	0	0	0	402,000	第５号補正（7/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	401,280	0	0	0	401,280	
	差　引	△720	0	0	0	△720	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	402,000	402,000	0	402,000	401,280	0	720
	合　計	402,000	402,000	0	402,000	401,280	0	720

決算額内訳	【負担金補助及び交付金】 ・小学校（バスを増便で運行したが、北海道教育旅行支援事業、GOTOトラベル事業により、小・中学校修学旅行安全確保事業の対象経費なし） ・中学校（道南方面２泊３日のバス増便借上費用）：401,280円 札内中　　３台増便：165,660円 札内東中　　３台増便：235,620円
事業効果	小・中学校の修学旅行において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として３つの密（密閉・密集・密接）を回避するため、バスの追加借上げに伴い経費が増加した保護者の負担軽減が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	26	事業名	小・中学校感染防止対策事業
事業概要	小・中学校における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、非接触型体温計や自動手指消毒器等を整備する。		

事業費（全体）		事業費	特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	716,000	357,000	0	357,000	2,000	第５号補正（7/10）
	決算額	715,989	357,000	0	358,000	989	
	差　引	△11	0	0	1,000	△1,011	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	需用費	716,000	716,000	0	716,000	715,989	0	11
	合　計	716,000	716,000	0	716,000	715,989	0	11

決算額内訳	【需用費】 ・自動手指消毒器　4,500円×47台＝211,500円 ・非接触型体温計　7,000円×14個＝ 98,000円 ・その他感染防止対策用消耗品　　406,489円
事業効果	小・中学校における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、非接触型体温計や自動手指消毒器等を整備し対策が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	27	事業名	図書館パワーアップ事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅で過ごす時間を少しでも有意義に過ごしてもらい、読書に親しむ家庭環境に資するよう、小学生向けの団体貸出用図書を複数セット購入し、学年別等で分けた図書セットを学級単位で団体貸出する。あわせて、図書館蔵書の拡充を図り、図書館の魅力を一層高め、在宅での読書機会を推進する。		

事業費（全体）		事業費	特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	5,000,000	0	0	0	5,000,000	第５号補正（7/10）
	決算額	4,999,684	0	0	0	4,999,684	
	差　引	△316	0	0	0	△316	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	備品購入費	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	4,999,684	0	316
	合　計	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	4,999,684	0	316

決算額内訳	【備品購入費】 ⅰ　団体貸出用図書1,454冊（36セット）：2,491,233円 ⅱ　貸出用図書1,105冊：2,508,451円
事業効果	おすすめの本をセットにし貸出することによって、図書館での滞在時間の短縮を図るとともに、在宅における読書機会を提供することができた。 【令和２年度統計（令和２年９月～令和３年３月）】 ⅰ　団体貸出用図書（１セット35～40冊） 　利用学級数：31クラス　貸出冊数：8,150冊　貸出セット数：219セット ⅱ　貸出用図書（１セット５冊） 　利用人数：318人　貸出冊数：634冊　貸出セット数：126セット ※ネットによる予約　令和元年度：1,860件　令和２年度：2,367件

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

<table>
<tr><td>番号</td><td>28</td><td>事業名</td><td colspan="6">しらかば大学安全確保事業</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="7">しらかば大学の開催にあたって、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として３つの密（密閉・密集・密接）を回避するため、クマゲラ校専門科目の受講者の送迎について、町の福祉バスで不足する分を借上げバスにより対応する。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">事業費
（全体）</td><td colspan="2" rowspan="2">事業費</td><td colspan="4">特定財源</td><td colspan="2" rowspan="2">補正時期</td></tr>
<tr><td>国・道
補助金</td><td>地方債</td><td colspan="2">臨時交付金充当可能額</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>国庫補助事業分【別枠】</td><td>地方単独事業分</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>予算額</td><td>325,000</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>325,000</td><td colspan="2" rowspan="3">第５号補正（7/10）
第11号補正（3/2）</td></tr>
<tr><td>決算額</td><td>248,000</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>248,000</td></tr>
<tr><td>差　引</td><td>△77,000</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>△77,000</td></tr>
<tr><td rowspan="3">充当可能予算額と決算額等</td><td colspan="2">節</td><td>予算額</td><td>各課
配当額</td><td>流用額</td><td>充当可能
予算額</td><td>決算額</td><td>翌年度
繰越額</td><td>不用額</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用料及び賃借料</td><td>325,000</td><td>325,000</td><td>0</td><td>325,000</td><td>248,000</td><td>0</td><td>77,000</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　計</td><td>325,000</td><td>325,000</td><td>0</td><td>325,000</td><td>248,000</td><td>0</td><td>77,000</td></tr>
<tr><td>決算額内訳</td><td colspan="7">【使用料及び賃借料】
借上バス33人乗り：62,000円×４回＝248,000円</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="7">しらかば大学への通学に際し、通学用のバスを借上げ乗車率を減らすことにより、３密を回避し、受講者の感染機会の低減を図ることができた。</td></tr>
</table>

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	29	事業名	社会教育施設感染防止対策事業
事業概要	社会教育施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、百年記念ホール玄関２箇所にサーモグラフィーを設置する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	2,050,000	843,000	0	674,000	533,000	第５号補正（7/10）
	決算額	1,342,000	529,000	0	461,000	352,000	
	差　引	△708,000	△314,000	0	△213,000	△181,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	工事請負費	363,000	363,000	0	363,000	352,000	0	11,000
	備品購入費	1,687,000	1,687,000	0	1,687,000	990,000	0	697,000
	合　計	2,050,000	2,050,000	0	2,050,000	1,342,000	0	708,000

決算額内訳	【工事請負費】 サーマルカメラ用LAN配線工事：352,000円 【備品購入費】 サーマルカメラ一式（２台）：990,000円
事業効果	百年記念ホールの入口２箇所に、サーマルカメラを設置したことにより、来場者の感染機会の低減を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	30	事業名	社会体育施設感染防止対策事業
事業概要	社会体育施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、小学校の水泳授業でも利用する町民プールの混雑緩和のため、更衣室に入る人数を制限する必要があることから、更衣室の混雑が特に見込まれる３箇所の町民プールに臨時的にユニットハウスを設置する。また、札内スポーツセンター及び農業者トレーニングセンターのトレーニング室における利用者間の飛沫感染を防止するパーテーションを購入する。		

事業費（全体）		事業費	特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	1,396,000	0	0	0	1,396,000	第５号補正（7/10） 第11号補正（3/2）
	決算額	1,395,352	0	0	0	1,395,352	
	差　引	△648	0	0	0	△648	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	使用料及び賃借料	221,000	221,000	0	221,000	220,552	0	448
	備品購入費	1,175,000	1,175,000	0	1,175,000	1,174,800	0	200
	合　計	1,396,000	1,396,000	0	1,396,000	1,395,352	0	648

決算額内訳	【使用料及び賃借料】 臨時更衣室設置（ユニットハウス借上） ・町民プール３箇所（札内南・札内北・札内東）：220,552円 【備品購入費】 飛沫感染防止用パーテーション（40枚）一式：1,174,800円
事業効果	ユニットハウス借上げ、パーテーションを購入したことにより、プール利用者の３密回避、スポーツセンター及びトレーニングセンター利用者の感染機会の低減を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	31	事業名	新型コロナウイルス感染症関連無利子融資円滑化基金造成事業
事業概要	町内の事業者が新型コロナウイルス感染症の影響により借り入れる「新型コロナウイルス感染症特別貸付」等の借入後３年間の実質無利子となる融資に対する４年目以降の利子全額を補給するため、令和３年３月31日現在、融資実行済みである244件の融資総額43億4,891万円に係る利子補給額のうち、令和５年度から令和７年度末までの利子補給額を基金に造成する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	100,082,000	0	0	0	100,082,000	第７号補正（9/18） 第10号補正（2/17）
	決算額	100,081,668	0	0	0	100,081,668	
	差　引	△332	0	0	0	△332	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	積立金	100,082,000	100,082,000	0	100,082,000	100,081,668	0	332
	合　計	100,082,000	100,082,000	0	100,082,000	100,081,668	0	332

決算額内訳	【積立金】 件　　数：244件 融　資　額：4,348,910,000円 利子補給額：　100,081,668円（令和５年度～令和７年度） （令和17年度末までの利子補給額総額：159,858,375円）
事業効果	新型コロナウイルス感染症等の影響により被害を受けた幕別町内の中小企業者等のうち、新型コロナウイルス感染症関連融資を借り受けた者に対し、今後、その融資の利子を補給することにより、事業継続を支援することができる。 また、中小企業の健全な発展に資することを目的とする利子補給に対する基金を設置することで、町の財政運営の健全化を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	32	事業名	農商福箱ドライブスルー事業

事業概要

　新型コロナウイルス感染症による販売不振やイベント中止などの影響を受け、苦境に立たされている生産者や飲食店、福祉事業所等を支援するため、町内産の農畜産物（幕別地区：黒毛和牛、忠類地区：ゆり根）と特産品（チーズ等）を詰め合わせた福箱や野菜をドライブスルー形式により特別価格で販売する。
　特産品の販売ができない町内飲食店等に対しては、観光物産協会会員店舗で12月末まで使用できる商品券（500円～1,500円）を販売額に応じて、福箱に同封することにより支援する。
　前日の特産品袋詰め作業、当日の販売等を町内の福祉事業所に委託する。
　こうした取り組みにより、宣伝効果と接触機会を減らした新たな販売形式の確立を図り、農業（農畜産物の生産）と商業（特産品の販売）、福祉（労働力の提供）がそれぞれの立場で関わることにより、新たな農商福連携を実現することを目指す。
【実施主体】幕別町観光物産協会
　（協賛：幕別町、JA幕別町、JAさつない、JA忠類）
【日時場所】
　①令和２年10月25日（日）　9：00～14：00
　　幕別運動公園　駐車場
　②令和２年11月１日（日）10：00～14：00
　　忠類コミセン　駐車場
【福箱事業内容】
　福箱690箱（幕別390箱、忠類300箱）、
　野菜200箱（幕別138箱、忠類62箱）の予約販売
　※一人３箱まで購入可（応募多数の場合は抽選）

事業費（全体）

	事業費	特定財源				補正時期
		国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
				国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
予算額	3,314,000	0	0	0	3,314,000	第７号補正（9/18） 第11号補正（3/2）
決算額	3,313,721	0	0	0	3,313,721	
差　引	△279	0	0	0	△279	

充当可能予算額と決算額等

節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
負担金補助及び交付金	3,314,000	3,314,000	0	3,314,000	3,313,721	0	279
合　計	3,314,000	3,314,000	0	3,314,000	3,313,721	0	279

決算額内訳

【負担金補助及び交付金】
ⅰ　商品差額費：1,558,575円（仕入額4,187,075円－販売額2,628,500円）
　　（幕別会場販売額：1,816,500円、忠類会場販売額：812,000円）
ⅱ　飲食（販売）店商品券支払：648,500円（1,297枚×500円）
ⅲ　広告宣伝費：206,800円（13,500枚　広報10月号折込）
ⅳ　事務費：355,142円
ⅴ　警備等イベント開催経費：544,704円

事業効果

　町内の農畜産物と特産品を詰め合わせた福箱や野菜をドライブスルー形式で密を避ける等の対策を図りながら実施したことで、出役者及び来場者から感染者を発生させることなく、当初目的としていた地域活性化、生産者及び事業者並びに福祉事業所の支援につながった。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	33	事業名	防災拠点施設感染防止対策事業

事業概要

防災拠点である消防施設において、新型コロナウイルスの感染防止を徹底するため、感染防止対策用消耗品と感染防止対策用備品を購入する。
衛生環境の改善とウイルスの飛散を抑えるため、幕別消防署のトイレ洋式化改修工事を実施する。また、新型コロナウイルスの感染防止のための換気対策を適切に行うため、幕別消防署、札内支署、忠類支署に換気機能の付いたエアコンを設置する。
新型コロナウイルス感染者又は疑いのある患者を救急搬送した場合の感染リスクの低減と迅速な救急体制を図るため、幕別消防署と忠類支署に個別のシャワー室を設置する。また、感染防止のための手洗い及び出動後のシャワーを徹底するため、幕別消防署の洗面室及び浴室に限定した小規模な給湯設備を設置する。
感染拡大のリスクを低減させるため、幕別消防署の仮眠室を個室化に改修する。
幕別消防署の仮眠室個室化改修工事により既設の造作ロッカーを撤去することから、新たにシステムロッカーを購入する。

事業費（全体）

事業費		特定財源				補正時期
		国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
				国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
予算額	15,559,000	0	0	0	15,559,000	第７号補正（9/18） 第11号補正（3/2）
決算額	16,222,667	0	0	0	16,222,667	
差　引	663,667	0	0	0	663,667	

充当可能予算額と決算額等

節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
需用費	874,000	874,000	0	874,000	872,827	0	1,173
工事請負費	12,435,000	12,435,000	666,000	13,101,000	13,101,000	0	0
備品購入費	2,250,000	2,250,000	0	2,250,000	2,248,840	0	1,160
合　計	15,559,000	15,559,000	666,000	16,225,000	16,222,667	0	2,333

決算額内訳

【需用費】
感染防止対策用消耗品費：872,827円
・マスク、感染防止衣、手指消毒液　ほか
【工事請負費】
ⅰ　トイレ洋式化改修工事：1,310,888円
＜幕別＞男子トイレ　１箇所、女子トイレ　１箇所
ⅱ　エアコン設置工事：3,850,826円
＜幕別＞事務室　１台、＜札内＞事務室・休憩室　各１台、＜忠類＞事務室　１台
ⅲ　浴室改修工事：3,375,149円
＜幕別＞浴槽撤去、シャワー室　２箇所、＜忠類＞トイレ撤去、シャワー室　１箇所
ⅳ　給湯設備設置工事：688,876円
＜幕別＞給湯設備一式
ⅴ　仮眠室個室化改修工事：3,875,261円
＜幕別＞間仕切りブース　６箇所、エアコン設置　１箇所
【備品購入費】
ⅰ　感染防止対策用備品：1,124,640円
・オゾン水スプレー、オゾン発生器（各３台）：1,032,900円、非接触型体温計（６個）：91,740円
ⅱ　消防施設管理用備品：1,124,200円
＜幕別＞ロッカー　25台

事業効果

消防施設及び各種災害出動における新型コロナウイルス感染防止対策として、非接触体温計、感染防護衣及びオゾン発生器などを整備し、安全に出動し活動できる消防体制の構築が図られた。
また、トイレ洋式化改修工事によって、衛生環境の改善とウイルス飛散防止対策が図られるとともに、仮眠室個室化により、施設内における感染防止対策が整えられた。
さらには、シャワー室個室化及び給湯設備設置により、救急出動後の除染が可能となり、感染リスクの低減と迅速な救急出動体制の構築、消防力を維持する環境が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	34	事業名	夏季休業期間短縮事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業期間中の授業時間を確保するため、夏季休業期間を短縮したことによる給食補助調理員及び学校事務補助員、特別支援教育支援員、スクールガードの報酬等を追加する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	5,789,000	0	0	0	5,789,000	第７号補正（9/18） 第11号補正（3/2）
	決算額	5,787,648	0	0	0	5,787,648	
	差　引	△1,352	0	0	0	△1,352	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	報酬	4,907,000	4,907,000	0	4,907,000	4,906,766	0	234
	共済費	754,000	754,000	0	754,000	753,832	0	168
	旅費	128,000	128,000	0	128,000	127,050	0	950
	合　計	5,789,000	5,789,000	0	5,789,000	5,787,648	0	1,352

決算額内訳	【報酬】 ⅰ　給食補助調理員（18人）：932,684円 ⅱ　学校事務補助員（11人）：771,927円 （小学校　７校　７人：482,715円、中学校　４校　４人：289,212円） ⅲ　特別支援教育支援員（44人）：3,140,709円 （小学校　７校 37人：2,597,505円、中学校　３校　７人：543,204円） ⅳ　スクールガード（３人）：61,446円 【共済費】 ⅰ　給食補助調理員：141,012円 ⅱ　学校事務補助員、特別支援教育支援員：612,820円 ※スクールガード除く 【旅費】 費用弁償：127,050円
事業効果	新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業期間中の授業時間を確保するために夏季休業期間を短縮したが、地方創生臨時交付金を活用することにより、給食補助調理員及び学校事務補助員、特別支援教育支援員、スクールガードを確保することができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	35	事業名	高度無線環境整備推進事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症への対応を進めるうえで、「新たな生活様式」に必要な情報通信基盤の整備が急務であることから、小・中学校のオンライン授業やスマート農業に欠かせない高速情報通信の未整備地域を解消するため、農村地域を含めた町内全域で光回線網の整備を進める。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	849,578,000	3,500,000	548,900,000	288,384,000	8,794,000	第７号補正（9/18）
	決算額	0	0	0	0	0	
	差　引	△849,578,000	△3,500,000	△548,900,000	△288,384,000	△8,794,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	849,578,000	849,578,000	0	849,578,000	0	849,578,000	0
	合　計	849,578,000	849,578,000	0	849,578,000	0	849,578,000	0

決算額内訳	【負担金補助及び交付金】 令和３年度へ全額繰越
事業効果	

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	36	事業名	子育て情報配信・オンライン保健指導事業
事業概要	妊産婦が子育ての不安や悩みを抱えながらも、新型コロナウイルス感染症への懸念から、対面式の健康相談の利用や妊婦訪問・新生児訪問を躊躇してしまわぬよう、ビデオ通話によるオンライン保健指導や地域の子育て情報を必要とする対象者に効率的かつ効果的に伝達することが可能となる子育て情報配信アプリを導入する。		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	1,227,000	613,000	0	613,000	1,000	第７号補正（9/18）
	決算額	989,395	494,000	0	495,000	395	
	差　引	△237,605	△119,000	0	△118,000	△605	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	報酬	214,000	214,000	0	214,000	0	0	214,000
	職員手当等	116,000	116,000	0	116,000	110,715	0	5,285
	委託料	649,000	649,000	△48,000	601,000	583,000	0	18,000
	備品購入費	248,000	248,000	48,000	296,000	295,680	0	320
	合　計	1,227,000	1,227,000	0	1,227,000	989,395	0	237,605

決算額内訳	【報酬】 助産師によるオンライン相談希望者がいなかったため支出なし 【職員手当等】 時間外手当（12款職員給与費で計上） 　1,815円×61時間＝110,715円 【委託料】 子育て支援アプリ委託料 　・子育て支援アプリ運用保守費用：33,000円×６か月＝198,000円 　・オリジナル設定：費用かからず、支出なし 　・オンライン相談機能初期設定費用：330,000円 　・オンライン相談機能運用保守費用：　11,000円×５か月＝55,000円 【備品購入費】 オンライン保健指導用パソコン（１台）一式：295,680円
事業効果	子育て支援アプリの登録者は３月末現在で301人となり、特に乳児期の保護者に広く活用されている。 また、配信内容は38種類で、妊婦健診や乳幼児健診の勧奨、妊婦訪問や新生児訪問の時期の周知、予防接種の勧奨、新型コロナウイルス対策についての周知、幼児の視力についての注意喚起など幅広く、必要な時期に配信を行うことができた。 さらには、離乳食に係る相談などをオンラインで対応することができ、新型コロナウイルスの感染リスク低減が図られた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	37	事業名	国産農畜産物供給力強靭化対策事業
事業概要	新型コロナウイルス感染症により顕在化した新たな需要に対応するため、産地や実需者などサプライチェーンの各主体が連携して、輸入農畜産物から国産に切り替え、継続的・安定的な供給等を図るための体制整備として、実施主体である幕別町農業協同組合が導入する豆類の自動計量包装機及びパレタイザーの整備について国からの間接補助に加え、対象事業費の４分の１を上乗せして補助する。		

事業費（全体）		事業費	特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	54,375,000	36,250,000	0	18,125,000	0	第７号補正（9/18）
	決算額	54,375,000	36,250,000	0	14,500,000	3,625,000	
	差　引	0	0	0	△3,625,000	3,625,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	負担金補助及び交付金	54,375,000	54,375,000	0	54,375,000	54,375,000	0	0
	合　計	54,375,000	54,375,000	0	54,375,000	54,375,000	0	0

決算額内訳	【負担金補助及び交付金】 国産農畜産物供給力強靭化対策事業補助金 〇実施主体：幕別町農業協同組合 〇事業内容： ・自動計量包装機　２台 ・パレタイザー　　２台 〇事業費：79,750,000円 （国庫補助金36,250,000円、町補助金18,125,000円、自己負担額：25,375,000円）
事業効果	新型コロナウイルスの影響により大豆輸入量の減少が懸念される中、国産大豆の生産拡大を図るため、既存の乾燥調製施設に自動計量包装機及びパレタイザーを導入することにより、施設の処理能力（供給量）を向上させ、生産拡大が可能な環境を整備することができた。 ＜実績＞ ・平成29～平成30年産の平均処理量（供給量）：1,097,280kg ＜目標＞ ・令和４年産の処理量（供給量）：1,371,472kg（274,192kgの増加） 処理量（供給量）の増加により、生産者の作付意向の向上を図ることで、大豆の作付面積の増加に繋がる。 ＜実績＞ ・平成24～平成30年度の大豆の平均作付面積：283.19ha ＜目標＞ ・令和４年度の大豆の作付面積：428.01ha （令和４年度作付面積）÷（平成24～30年度の平均作付面積）＝428.01÷283.19＝1.5113（51.1%の増加）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	38	事業名	小・中学校感染症対策・学習保障支援事業

事業概要

　小・中学校における児童生徒・教職員等の感染症対策に必要となる物品を購入する。また、児童生徒の学びの保障のため、感染症対策等を徹底しながら、感染の状況や児童生徒の状況に応じた学校での教育活動や家庭学習を実施するために必要となる物品を購入する。

※国から学校規模に応じて補助金が配分される。
【補助基本額＜国庫補助上限額＞】
　小規模校：200万円（その他の学校）＜国庫補助上限額100万円＞
　中規模校：300万円（札内中学校）　＜国庫補助上限額150万円＞
　大規模校：400万円（札内南小学校）＜国庫補助上限額200万円＞

事業費（全体）

	事業費	特定財源				補正時期
		国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
				国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
予算額	31,061,000	15,500,000	0	15,500,000	61,000	第７号補正（9/18）
決算額	31,048,312	15,500,000	0	15,500,000	48,312	
差　引	△12,688	0	0	0	△12,688	

充当可能予算額と決算額等

節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
需用費	2,240,000	2,240,000	0	2,240,000	2,232,325	0	7,675
備品購入費	28,821,000	28,821,000	0	28,821,000	28,815,987	0	5,013
合　計	31,061,000	31,061,000	0	31,061,000	31,048,312	0	12,688

決算額内訳

【需用費】
感染症対策・学習保障支援用消耗品費：2,232,325円
　・マスク、手指消毒液、フェースシールド、印刷用インク・トナー　ほか
【備品購入費】
ⅰ　感染症対策・学習保障支援用備品：9,014,887円
　・大型冷風機、超短焦点プロジェクター、給食配膳台等
ⅱ　小・中学校保健室エアコン：12,650,000円
　　（小・中学校14校　全14台）
ⅲ　小・中学校指導者用デジタル教科書：7,151,100円

事業効果

　小・中学校における児童生徒・教職員等の感染症対策に必要となる物品及び学びの保障に必要な物品の整備を図ることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	39	事業名	頑張る事業者事業継続支援事業

事業概要

　新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者のうち、「新北海道スタイル」の実践に取り組む事業者を継続的に支援するため、令和２年11月～令和３年１月の月平均の売上が次のとおり減少している町内の企業や事業者に対して、緊急的かつ臨時的に給付金を交付する。

【交付対象事業者】
　本店所在地を町内に登記している中小企業、小規模事業者又は町内に住民票を置く個人事業者のうち、「新北海道スタイル」の実践に取り組む事業者で、令和２年11月～令和３年１月の月平均の売上が前年同期間と比較して20%以上減少し、かつ月平均の減少額が10万以上の事業者

【交付金額】
ⅰ　前年同期間△20%以上かつ月平均10万円以上20万円未満の減少額：一律15万円
ⅱ　前年同期間△20%以上かつ月平均20万円以上30万円未満の減少額：一律30万円
ⅲ　前年同期間△20%以上かつ月平均30万円以上の減少額：一律50万円

事業費（全体）

	事業費	特定財源				補正時期
		国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
				国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
予算額	26,750,000	0	0	0	26,750,000	第10号補正（2/17）
決算額	26,600,000	0	0	0	26,600,000	
差　引	△150,000	0	0	0	△150,000	

充当可能予算額と決算額等

節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
負担金補助及び交付金	26,750,000	26,750,000	0	26,750,000	26,600,000	150,000	0
合　計	26,750,000	26,750,000	0	26,750,000	26,600,000	150,000	0

決算額内訳

【負担金補助及び交付金】
交付対象事業者数：67事業者：26,600,000円
　150,000円×14事業者＝　2,100,000円
　300,000円×10事業者＝　3,000,000円
　500,000円×43事業者＝ 21,500,000円

事業効果

　新型コロナウイルス感染症が長期化する中、経済的影響を受けている町内の中小企業、小規模事業者及び個人事業者に対して臨時特例的な給付措置として給付金を交付することで、事業の継続を支援することができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	40	事業名	医療・福祉施設従事者用宿泊施設確保事業
事業概要	町内の医療施設または福祉施設において新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した際に、濃厚接触者（感染が疑われる利用者等を含む。）への支援業務に従事する施設職員のうち、同居家族がいる職員の宿泊施設を確保するため、町内の宿泊施設を借り上げ、その宿泊に要する費用を負担する。 【対象施設】 医療施設：病院、診療所など 福祉施設：特別養護老人ホームや障がい者の共同生活援助（グループホーム）などの介護施設・障害福祉サービスを提供する施設		

事業費（全体）	事業費		特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	3,208,000	0	0	0	3,208,000	第11号補正（3/2）
	決算額	0	0	0	0	0	
	差　引	△3,208,000	0	0	0	△3,208,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	使用料及び賃借料	3,208,000	3,208,000	0	3,208,000	0	0	3,208,000
	合　計	3,208,000	3,208,000	0	3,208,000	0	0	3,208,000

決算額内訳	【使用料及び賃借料】 ※　支出なし
事業効果	令和２年度中には町内の医療・福祉施設でのクラスターの発生はなく、利用の実績はなかったが、施設職員が家族等への感染のリスクを回避し、業務を継続するために支援となる事業である。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金　充当事業決算状況調（個表）

（単位：円）

番号	41	事業名	小・中学校教育活動継続支援事業
事業概要	小・中学校において感染症対策等を徹底しながら学校教育活動を円滑に継続するため、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要となる物品の購入や、教職員の感染症対策等に資する研修、オンライン学習等に資するＩＣＴ研修、その他自己研鑽のために必要となる研修図書などの経費を支援する。 また、児童生徒の学びの保障のため、感染の状況や児童生徒の状況に応じた学校での教育活動や家庭学習を実施するために必要となる物品を購入する。		

事業費（全体）		事業費	特定財源				補正時期
			国・道補助金	地方債	臨時交付金充当可能額		
					国庫補助事業分【別枠】	地方単独事業分	
	予算額	12,680,000	6,200,000	0	0	6,480,000	第13号補正（3/19）
	決算額	0	0	0	0	0	
	差　引	△12,680,000	△6,200,000	0	0	△6,480,000	

充当可能予算額と決算額等	節	予算額	各課配当額	流用額	充当可能予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額
	需用費	3,290,000	3,290,000	0	3,290,000	0	3,290,000	0
	備品購入費	9,390,000	9,390,000	0	9,390,000	0	9,390,000	0
	合　計	12,680,000	12,680,000	0	12,680,000	0	12,680,000	0

決算額内訳	【需用費】 令和３年度へ全額繰越 【備品購入費】 令和３年度へ全額繰越
事業効果	